

埼玉県芸術文化祭30周年記念シンポジウム

未来へ種をまく。 — 芸術文化の役割を考える —

若い世代が芸術文化に触れることの意義は何か。
そして、芸術文化に携わる行政、文化団体、NPO、
公共施設がいま果たすべき役割を問う。



< 基調講演講師、パネリスト >

衛 紀生

可児市文化創造センター館長兼劇場総監督

< パネリスト >

古賀 弥生

九州産業大学教授、
NPOアートサポートふくおか代表

小松 弥生

埼玉県教育委員会教育長

堀 貴雄

岐阜県教育委員会教育次長

平野 到

埼玉県立近代美術館学芸主幹

令和元年

(13:00受付開始)

日時：11月24日 (日) 13:30~16:00

会場：ソニックシティ第5展示場 JR大宮駅西口徒歩3分
ソニックシティビル棟B1F

★本シンポジウムは「芸術文化ふれあい交流フェア」(10:00からソニックシティ展示場等で実施)の一環として開催します。

事前申込が必要です。(電話又はWEBによりお申し込みください。)

< 電話 > 048-830-6925 (県文化資源課)

< WEB > 右のQRコード又は下記ホームページ参照



申込QRコード

(定員になり次第締切)

埼玉県芸術文化祭30周年記念シンポジウム

埼玉県芸術文化祭30周年記念シンポジウム

未来へ種をまく。ー芸術文化の役割を考えるー

日時：令和元年11月24日（日）13：30～16：00

会場：ソニックシティ第5展示場（さいたま市大宮区）

基調講演「芸術文化の果たすべき社会的役割は何か」

講師 衛 紀生（可児市文化創造センター館長兼劇場総監督）

現在、芸術文化振興基金運営委員会委員 地域文化・文化団体活動部会 部会長を務めるほか、十数地域の自治体文化行政にかかわる。文化庁、財団法人地域創造などの委員を歴任。平成28年度 芸術選奨文部科学大臣賞受賞（芸術振興部門）

平成20年に岐阜県の可児市文化創造センター（愛称アーラ）の館長兼劇場総監督に就任。文字どおり全ての市民のための劇場を目指す「アーラまち元気プロジェクト」等の事業を実施、10年で観客数が3.7倍に増加した。文化芸術が、様々な立場にある人々に社会参加の機会をひらく社会包摂の機能を持つことを長年に渡り訴えている。

パネルディスカッション「若い世代の成長に芸術文化が寄与できること」

パネリスト（五十音順） 衛 紀生（可児市文化創造センター館長兼劇場総監督）

古賀 弥生（九州産業大学教授、NPOアートサポートふくおか代表）

大学での所属は地域共創学部 地域づくり学科。代表を務めるNPOは「誰もが芸術文化を身近に楽しめる環境づくり」をミッションに掲げる。元福岡市職員。

小松 弥生（埼玉県教育委員会教育長）

昭和56年文部科学省入省。仙台市教育委員会教育長、文化庁文化部長、独立行政法人国立美術館理事、文部科学省研究振興局長などを経て平成29年から現職。

平野 到（埼玉県立近代美術館学芸主幹）

平成4年より埼玉県立近代美術館に勤務。近年は「日本におけるキュビズム」（平成28年）、「ディエゴ・リベラの時代」（平成29年）などの展覧会に携わる。

堀 貴雄（岐阜県教育委員会教育次長）

岐阜県立不破高等学校校長などを経て現職。演劇のワークショップを通じて高校の中途退学者や問題行動を激減させたプロジェクト（「東濃方式」）を手がけた。

コーディネーター 案浦 久仁子（埼玉県教育局市町村支援部文化資源課長）

<埼玉県芸術文化祭2019>

主催：埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会

後援：朝日新聞さいたま総局 共同通信社さいたま支局 埼玉新聞社 産経新聞さいたま総局

時事通信社さいたま支局 東京新聞さいたま支局 毎日新聞さいたま支局

読売新聞さいたま支局 NHKさいたま放送局 テレ玉 FM NACK5

JR東日本 大宮支社

協賛：(株)しまむら (公財)日本教育公務員弘済会埼玉支部 青木信用金庫 イオン(株)

川口信用金庫 こくみん共済 coop<全労済>埼玉推進本部 (一社)埼玉県経営者協会

埼玉縣信用金庫 埼玉りそな銀行 中央労働金庫 埼玉県本部 東和銀行 (株)ハイデイ日高

飯能信用金庫 武蔵野銀行 (株)サイサン 埼玉県牛乳普及協会 埼玉県中小企業団体中央会

全国共済農業協同組合連合会 埼玉県本部 武州ガス(株)